

卒業研究の梗概（こうがい）の作成

— 記述項目・原稿フォーマット・PDF ファイルの規定 —

小濱隆司

東京電機大学 システムデザイン工学部 情報システム工学科

1 はじめに

卒業研究では、学生の研究および開発の記録保存を目的として、「卒業研究の梗概（こうがい）」を作成する。また、学内ウェブで、PDF ファイル^{*1}を公開する予定である。この梗概は、卒業研究発表会にあわせて作成する。

2 原稿作成

原稿は学会（電子情報通信学会、情報処理学会等）の論文形式を基本とする。作成にあたっては文献 [1] を参考にする。

2.1 記述項目

必須の記述項目は「テーマ名」「学籍番号」「氏名」「指導教員」「本文」である。必要であれば「サブテーマ名」「研究室名」「共同研究者」を記述する。

本文は背景・目的・理論・アルゴリズム・システム構成・シミュレーション・評価・結果・まとめ・参考文献などをセクションに区切って記述する。

2.2 原稿フォーマット

原稿サイズは A4 とし、上下の余白は 20mm～30mm、左右の余白は 20mm～25mm で作成する。テーマ名・学籍番号・氏名・指導教員の各行は 1 カラム (1 段組) とし、センタリング (中央揃え) する。本文は 2 カラム (2 段組) とする。文字サイズとフォントの目安を表 1 に示す。表・図には番号を付け、表のキャプションは上に、図のキャプションは下に付ける。図表は、フロートとして、top,bottom に配置する。

2.3 PDF ファイル

標準フォント以外のフォントを使用する場合は「フォントの埋め込み」を行う。提出ファイル名は「学籍番号.pdf」(例「00AJ000.pdf」)とする。

表 1 文字サイズとフォントの目安

項目	ポイント数	フォント
テーマ名	16	明朝
サブテーマ名	12	明朝
学籍番号・氏名	12	明朝
見出し	12	ゴシック
本文	10	明朝
参考文献	9	明朝

2.4 ページ数

梗概は 2 ページとする。

3 サンプルファイル

L^AT_EX2e を使用したサンプルファイルを配布する。L^AT_EX2e 文書作成にあたっては文献 [2] を参考している。

サンプルファイルでは「サブテーマ名」「研究室名」「共同研究者」が入っているが、必要なければ削除する。

4 学内ウェブの公開

卒業研究発表会後に PDF ファイルを提出する。その後、学内ウェブに公開する予定である。

参考文献

- [1] 中島利勝 塚本真也, 「知的な科学・技術文章の書き方」, コロナ社
- [2] 奥村晴彦, 「L^AT_EX2e 美文書作成入門」, 技術評論社

^{*1} portable document format file